

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	八雲保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

平成 30 年 7 月 20 日

総 評	八雲保育園は昭和41年に八雲区立の保育園として開設され、現在は社会福祉法人河守福祉会が運営する、周辺を雄大な自然に囲まれた定員70名の保育園です。 「センス・オブ・ワンダー 驚きに目をみはる心」を保育のスローガンとし、子どもたちが生まれながらに持つ「何かを探究したり、発見したりしたい」という性質を大事に捉え、「科学する心」を子どもが主体的に遊び、学びを深められる保育に取り組んでいます。 また、子どもたち自身が今日の遊びを振り返る時間、幼児担当保育士が中心となって3歳未満児担当の保育士と保育を振り返る時間、次の保育環境の構成を考える時間が設けられており、子どもの好奇心が引き出せるよう「ワンダー」に富んだ環境づくりを行い、継続的な遊びが展開出来るよう努めています。 園長、副園長は、これらの保育内容が充実するよう、職員や保護者と積極的にコミュニケーションを図っており、方針に沿った保育が園全体で共有され実践できるよう取り組んでいます。 雄大な自然環境の中、園舎全体にゆったりとした時間が流れており、子どもたちの好奇心に満ちた目や声が、園生活に心地よい雰囲気を作り出しています。日々の園生活が安心して過ごす事ができる事で、子どもたちの好奇心や考える心が自然に引き出せる環境となっており、「静」と「動」のバランスを意識した落ち着いた園運営がなされています。
特に良かった点(※)	・ 期待する職員像として「八雲保育園倫理綱領」の内容を大切に考えています。また、管理者は職員の就労状況や意向をこまめに把握するよう努めると共に、職員とのコミュニケーションや職員間の連携が円滑に図られるよう雰囲気づくりに取り組んでいます。 ・ 小学校とは年間カリキュラムに沿って、在園児と小学生の交流事業を毎月実施しています。 ・ 3歳以上児は、「子ども時間」と称し、クラスや年齢の枠を無くし、子どもが自分のペースで遊べる時間を確保しています。それと共に、毎週月曜日の朝には生活習慣についての話をしたり、生活点検表を作成し、日々の生活についてのルールや礼儀などについて意識できるよう取り組んでいます。
特に改善が望まれる点(※)	・ 今後は、長期の指導計画において、実際に取り組んでいる保育実践の内容や援助を見据えて編成されると共に、子どもの記録の保管、保存、廃棄等について規定を定められるとより良いでしょう。 ・ 今後は、現状の人員体制や人事管理のベースとなる考え方やルールを整理し、人材育成や人事に関する基準を明確にし、職員に周知するとより良いでしょう。 ・ 保育課程を整備しています。今後は、保育所保育指針に示されている「全体的な計画」と名称を変更し、明記された内容に準じて、見直し再編成されるとより良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】 評価結果対比シート

(注)判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご留意下さい】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	八雲保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	平成30年 7月20日

保育所評価基準 対比シート (H29年4月～)

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	通番	頁番	評 価 細 目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	a
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	a
		3	②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	a
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	a
		5	②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	a
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	a
		7	②	事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b	b
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	①	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	a
		9	②	評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	a

[自由記述欄]

・保育の理念、基本方針、目標が明文化されており、園のしおり、ホームページで明示しています。職員には職員会議で園のしおりを配布し周知しています。

・経営課題は経営と保育の両面から課題や問題点について管理者を中心に職員と話し合い、単年度の計画だけでなく中・長期の計画も策定する事が、少子高齢化が進む地域性もあり、必要不可欠となっています。また、その内容は理事会評議員会において提起され、役員間でも共有しています。保護者には、年間行事予定をクラスだよりで知らせていますが、事業計画の主な内容を資料等で理解しやすいよう工夫を行い、周知されるとより良いでしょう。

・管理者を中心に、園の方針を職員に浸透させる為、毎週の職員会議や園の方針に沿った自己評価チェックシートなどがあり、保育の方向性が職員間で共有されるよう取り組んでいます。

Ⅱ 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ	Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	a
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	a
	Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	a
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	a
Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成	Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	b
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	b	b
	Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b	b
	Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b	b
		18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	a
		19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	a
	Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	a
Ⅱ-3 運営の透明性の確保	Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	a
		22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	b
Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献	Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	a
		24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	a
	Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	a
	Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	b	a
		27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a	a

[自由記述欄]

・期待する職員像として「八雲保育園倫理綱領」の内容を大切に考えています。また、管理者は職員の就労状況や意向をこまめに把握するよう努めると共に、職員とのコミュニケーションや職員間の連携が円滑に図られるよう雰囲気づくりに取り組んでいます。それらの取り組みが効果的な事は、職員の勤続年数が長いことから伺えます。今後は、現状の人員体制や人事管理のベースとなる考え方やルールを整理し、人材育成や人事に関する基準を明確にし、職員に周知するとより良いでしょう。

・職員一人一人の研修計画を策定し、必要な研修に参加できるよう取り組んでいます。また、園内研修も実施し、保育内容を職員間で確認し合い園の方針に沿った保育になっているか確認・共有できるよう取り組んでいます。実習生の受け入れについては、園独自のプログラムや手順を明記したマニュアルを整備していますが直近3年間は受け入れ実績がありません。

・運営内容や財務内容について、ホームページで公表しています。また、経理規程を定め、それに準じた経営を行っています。今後は、外部機関による監査の活用等によりチェックを実施されるとより良いでしょう。

・八雲区立として開設された園であり、地域の民生委員・児童委員、自治会などをはじめ関係機関・団体との連携を大切にしています。また、地域の行事や講演会等において施設を利用してもらったり、園庭開放や民生委員・児童委員と協力して劇の上演を行うなど、地域と在園児との交流も図っています。小学校とは年間力リキュラムに沿って、在園児と小学生の交流事業を毎月実施しています。隣接する園舎別館を「八雲区民センター」として区民に開放し、各種団体の会議や催しで使用しています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番		評価細目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	①	子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	a
		29	②	子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a	a
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	30	①	利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	a
		31	②	保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	a
		32	③	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	b
	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	33	①	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	a
		34	②	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b	a
		35	③	保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	a
	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	①	安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	a
		37	②	感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	a
		38	③	災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にを行っている。	b	a
		39	④	不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	b	a
Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	40	①	保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a	a
		41	②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	a
	Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	42	①	アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a	a
		43	②	定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	b
	Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	44	①	子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	a
		45	②	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	b
【自由記述欄】						
・在園児の転園に際し、保護者の了解を得て転園先の園に発達経過記録の送付を行っています。今後は、転園時の保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めると共に重要事項説明書等に明記するとより良いでしょう。						
・苦情解決の体制を整備し、保護者にその内容を配布しています。また保護者には「ご意見シート」と称し、相談や意見を記入できるアンケートを年2回実施しています。その要望や対応内容は、「Q&A」として保護者にフィードバックしています。						
・毎月実施する遊具安全点検、ヒヤリハット報告書の作成や、事故防止・事故発生時の対応マニュアルを整備しています。また、二度の水害、二度の山崩れ等の災害を経験しており、災害発生時の体制、対策については関係機関との連携を含め整備しています。また、有事に必要な食料や備品を備えています。不審者侵入時対応マニュアルは整備していますが、今後は警察等との連携などを含め職員研修を実施されるとより良いでしょう。						
・保育課程に基づき年間指導計画、各種短期指導計画を策定し、ケース会議や保護者から意見等を踏まえ日々の計画の評価・反省を実施し次の計画に反映させています。今後は、保育課程を全体的な計画に改めると共に長期の指導計画において、実際に取り組んでいる保育実践の内容や援助を見据えて編成されるとより良いでしょう。また、子どもの記録の保管、保存、廃棄等について規程を定められるとより良いでしょう。						

A-1 保育内容

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-（1） 保育課程の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭 及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a	b
		47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	a
	A-1-（2） 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	a
		49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	a
		50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	a
		51	⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		52	⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	a
	A-1-（3） 健康管理	57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	a
		58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	a
		59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	a
	A-1-（4） 食事	60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	a
		61	② 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a	a

【自由記述欄】

・保育課程を整備しています。今後は、保育所保育指針第1章3の(1)に示されている「全体的な計画」と名称を変更し、指針で明記された内容に準じて、見直し再編成されるとより良いでしょう。

・園庭や保育室内に、職員が工夫を凝らした保育の環境が整備されています。様々なコーナーを各部屋ごとに整備し、絵本や様々な素材、道具や玩具などが置いてあり、子どもの好奇心を引き出せるよう配慮しています。園庭は、築山やトンネル、樋(とい)を利用した水を流しての泥んこあそびや、草花を使った染めものあそびなど、子どもたちの科学的な思考が育つような場を設けています。また、ホールではうんていやマットなどを利用した運動遊びの場も提供し、子どもが思い思いの遊びに没頭できる環境整備に努めています。

・3歳以上児は、「子ども時間」と称し、クラスや年齢の枠を無くし、子どもが自分のペースで遊べる時間を確保しています。それと共に、毎週月曜日の朝には生活習慣についての話をしたり、生活点検表を作成し、日々の生活についてのルールや礼儀などについて意識できるよう取り組んでいます。

・障害のある子どもの保育について、関係機関と連携し保護者を含めたカンファレンスを定期的開催しています。また、異年齢での関わりを大切にし、関係機関からの助言や研修等での学びをもとに指導計画を策定し、それに基づいた保育実践を行っています。

・18時30分以降の延長保育は実施していませんが、長時間保育園にいる子どもがくつろげるよう環境を整備しており、ゆったりとした雰囲気の中で不安になったり寂しくならないよう配慮しています。小学校との連携については、平成23年から近隣小学校と交流事業を年間を通じて実施しています。

・子どもが楽しく食事ができるように行事食を取り入れると共に、毎週金曜日は「海軍カレー」の日と称し、大豆、コconaツツ、トマトなどバリエーションの違うカレーを提供しています。また、毎給食に、様々なフルーツを付け、見た目が色鮮やかなになるよう配慮しています。

A-2 子育て支援

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	a
	A-2-(2) 保護者等の支援	63	① 保護者等が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	a
		64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	a
	A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b	b
[自由記述欄]					
・年2回、クラス懇談・保育参観を実施しています。全園児を対象に連絡ノートを活用し、日々の保護者との情報交換が充実するよう取り組んでいます。 ・指導計画や保育の記録を通して、それぞれの保育に対する振り返りを行い、次年度に評価・反省を活かせるよう取り組んでいます。					